



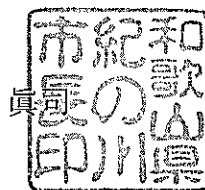
20紀建総発第544004号

平成20年10月22日

国土交通省 道路局長 殿

和歌山県紀の川市

市長 中村 眞



今後の道路行政についての意見・提案の提出について(回答)

平成20年9月19日付国道企第37号にて依頼のありました標記の件について、別紙のとおり報告しますので、よろしくお願いします。

バランスのとれた道路ネットワークの整備をするには、大都市圏から地方に道路整備をするのではなく、地方から大都市に向けて整備するという方向に転換して欲しい。そうしないと将来の住宅建築や企業の地方進出はやはり、道路事情の良い所に計画するため、地方の発展はないと考えます。また地方は高齢化が進む中、生活に密着した交通手段はやはり、自動車が主流で、年齢が高くなっても自動車の運転をしないと生活できないのも、地方道路整備が優先すべきと考える根拠であります。

制度の面では、地方の行政が安定的に道路整備が実施できるよう、早急に「地方道路整備臨時交付金制度」を拡充し、明確化して欲しいと考えます。

○現状

本市においては京阪神方面への電車でのアクセスはJR和歌山線で、東は橋本市の南海高野線、西はJR和歌山駅から阪和線または南海本線の和歌山市駅からの手段によります。

また和歌山電軌を利用しても、JR和歌山駅からのアクセスとなります。自動車通勤、通学する市民は府県道泉佐野打田線を利用するか、隣接の岩出市から府県道泉佐野岩出線を利用している状況である。たしかに国道480号については「鍋谷トンネル」が国直轄事業となったが、大阪府側の工事が遅れているため、この問題の早期解決にはならないと考える。

○課題

本市は、国が進めています京奈和自動車道の早期完成を強く望んでいます。そんな中、京奈和自動車道への県道・市道のアクセス道路の整備している所であります。しかしながら、本市の北側は、和泉山脈により、大阪府と接しており、本市を通る府県間道路の整備が喫緊の課題となっております。その為、国・県の力添えを頂き、本市が要望している(仮)紀の川関空連絡道の実現を望んでいる。又、本市は、27百余りの市道を維持管理をしている中、その維持補修、新設改良に要する財源の確保に苦渋している状況にあります。

市民が長く住み続けたいと思う街づくりを実現し、利便性、快適性、さらに安全性を備えた都市基盤を構築するために道路整備が不可欠と考えます。

具体的には現在進んでいる京奈和自動車道の早期整備や府県間道路の整備推進をし、市内外の広域的な交流や国、県含め市内道路のネットワークの構築を目指します。そうすることにより人口減少の歯止めや就業機会を確保し、企業立地の発展、推進にも繋がることとなります。また基幹産業は農業であり、豊富な地域資源を有効に活用しつつ、農業体験や産直市などを通じて、より一層観光との有機的な連携を図るとともに、地産地消や食育の推進にも取り組みます。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

和歌山県紀の川市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・特に記述すべき事例はありません			